



会津放射能情報センター NEWS

住所：〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36 Tel & Fax：0242-23-9401
開館日：水木金土曜 10時～16時（国民の休日を除く）
E-mail：info@aizu-center.org 公式 blog：http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/
Web：https://aizu-center.org



2021年7月21日発行

第35号

会津放射能情報センター

検索

大切なのは諦めないこと

会津放射能情報センター代表 片岡輝美

4月13日に政府が出した2年後の「ALPS処理水」の海洋放出方針の決定を受けて、6月26日いわき市でこれ以上海を汚すな！市民会議が、7月10日三春町で「汚染水の海洋放出に反対する」実行委員会が、経産省資源エネルギー庁・奥田修司氏を招いて意見交換を行いました。ここから見えてきたのは、今後2年間、全力で海洋放出ありきの「丁寧な説明」を行い、国民に理解納得を求める国の在り方です。

2015年8月、東電が福島県漁連に対して行った「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わず、多核種除去設備で処理した水は発電所敷地内のタンクに貯留する」との約束を反故にしたうえ、同漁連や全国漁連を始めとする第一次産業やあらゆる組合からの反対、7割の市町村議会が採択した方針撤回または慎重な判断を求める意見書、4千を超えるパブリックコメントや国内外の反対署名があったにもかかわらず、海洋放出を決定したのは「合意形成プロセスを踏んでいない」と、私たちは訴えました。

しかし、奥田氏の回答は次の通りでした。「政府はこれまでたくさんの意見を聞いた。反対意見も聞いたうえで方針は決定された。よって漁連との約束を反故にしたとの認識は持っていない」「約束を守るために皆さんの理解を得ていきたい」「廃炉の最終形は決まっていないが来年からはデブリの取り出しを始める」「陸上保管を続けるなら廃炉は諦めないといけませんがそれでいいのか」「現時点で基本方針を変えるつもりはない」「合意形成をどういう趣旨で仰

ているのかによりますが、決定する主体は政府であり、我々の責任で決定していく」。

ひとつも筋が通らない回答に、私たちが「決定権は国ではなく被害を受けた当事者にある」「最も重視されるべきは被害者の声」と強く反論しても、その言葉は奥田氏の面を素通りしていきま

した。それでも、私たちができることは「決して諦めないこと」。方針が決定された日を覚え、各地で「海洋放出NO!」の毎月13日スタンディングを行っています。皆さんも、ぜひ繋がってください。



山崎知行医師とうれしい再会！

6月24日（木）～25日（金）、山崎医師をセンターにお招きして学習会とおしゃべり会を開き、約1年半ぶりの再会を喜びました。学習会のテーマは「甲状腺検査の今と安定ヨウ素剤のこと」。遠方にお住まいの方にもインターネットを利用して参加していただきました。コロナ禍で話題にのぼることも少なくなりましたが、原発事故の影響だけでなく、汚染土再利用などで拡散される放射能の影響はこれからも注視していかなければならないと再認識しました。安定ヨウ素剤の使用について知りたい方はセンターまでお問い合わせください。



■ 2021年3月～6月の感謝報告 ■

いつもセンターの働きをお憶えくださり、ありがとうございます。年会費および協賛金をお届けくださった方を記載しています。特記なき教会伝道所や教区などは、すべて「日本基督教団」です。万一、記載漏れなどがありましたらお手数ですがご連絡ください。3月1日～6月30日の受付分となります。(敬称略・到着順)

■個人

成松三千子、木村美紀、藤井良三、山崎知行、小幡 正、岡野裕恵、普天間ともえ、藤吉求理子、長坂恭子、大嶋果織、タナカマサヒロ、坂本恭子、本多香織、清水弘一、西尾登美、佐藤久美、小寺秀一、結城和美、高橋千沙子、藤原秀徳、田中直子、中村光一、守下宣子、コイケヨウヘイ、後藤二子、後藤 学、笛木直子、中條千晴、内藤新吾

■団体

霊南坂教会、福岡女学院教会女性の会、大分教会、紫野教会教会学校、上岩出診療所、城崎教会、札幌北光教会、中部教区愛知西地区、溝ノ口教会、下落合教会、桜美林教会、国分教会、神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」、農村伝道神学校、大牟田正山町教会、尼崎教会、経堂緑岡教会、日本キリスト教保育所同盟、No Nukes Goods Projects、東京第四友の会目黒方面、甲南教会子どもの教会、長崎銀屋町教会、フィーリー記念室委員会、防府教会、主恩教会女性会、芦別教会、語り手たちの会、久ヶ原教会、喜界教会、高の原教会、旭川星光教会、京都西田町教会、甲東教会教会学校、大阪西淀川教会、春日東教会子どもの礼拝、紫野教会、神戸北教会こどもの教会、田園調布教会、刈谷教会 CS、荒尾めぐみ幼稚園、名古屋中央教会、大阪教区核問題特別委員会、京葉中部教会、河内松原教会、岡山教会、草津教会、広島流川教会、広島牛田教会、美唄教会昼食会計、岡崎教会こども会、千里聖愛教会、a little、会津地区、東広島教会、扇町教会、幕張教会、美唄教会教会学校、東洋英和福島の子どもの支援プロジェクト「虹の橋募金」、香椎教会、佐敷教会教会学校、『高戸佐和子と仲間たち』、大宮まぶね保育園、ハンガリー親と子の会、藤沢大庭教会、市川三本松教会、日本キリスト教社会事業同盟、日本キリスト教団核問題連絡会

■支援品

島松伝道所

■子ども脱被ばく裁判の会事務局を兼務しています。

当センター代表の片岡輝美は、2014年8月提訴より「子ども脱被ばく裁判の会」の共同代表を務め、2017年10月より当センターが裁判の会の事務局を担って参りました。

2021年3月の福島地裁敗訴を受けて原告は控訴し、法廷は仙台高裁に移ります。情報センターも引き続き同裁判の事務局として支えていくことになりました。

仙台高裁では、低線量内部被ばくや不溶性放射性微粒子の危険性、国・福島県が子どもに無用な被ばくを強いた責任などの争点に、「緊急時における知る権利の保障」が加わります。今後も子ども脱被ばく裁判にも関心をお寄せくださいますよう、お願いいたします。

■ 2021年4月～7月の活動報告 ■

■ 4月

- 9日 オンライン報告：日仏会館国際シンポジウム～10日「東日本大震災の10年」153名 片岡輝美
- 20日 オンライン報告：Manhattan Project for a Nuclear-Free World 12名 片岡輝美

■ 5月

- 30日 オンライン報告：日本聖公会「原発はやめようよ」70名 片岡輝美

■ 6月

- 4日 オンライン報告：キリスト教社会事業同盟総会 60名 片岡輝美
- 12日 センター役員会
- 24日 「甲状腺検査の今と安定ヨウ素剤のこと～zoom & 実参加」山崎医師個別相談1名、学習会3名
- 25日 「甲状腺検査の今と安定ヨウ素剤のこと～zoom & 実参加」山崎医師個別相談2名、学習会7名
- 26日 これ以上海を汚すな！市民会議 経産省交渉・いわき市 80名 片岡輝美

■ 7月

- 2日 オンライン報告：名古屋キリスト教社会館 200名 片岡輝美

SMILE SMILE SUMMER! 今年もやります!

コロナ禍でなかなか保養のご案内をすることができない中、子どもたちに笑顔を届けたいと昨年立ち上げたこの企画、今年も実施します。

20歳以下のお子さんとの夏休みの家族イベントを対象に1万円を補助します(※会員向け、20家族程度)。

どうぞお子さん、お孫さんと一緒に楽しい夏を過ごしてください。詳しくはML(メーリングリスト)にて配信します。お気軽にお問い合わせください。

■ ホームページをご覧ください ■

原発関連の情報や書籍の紹介、センター NEWS バックナンバーをご覧ください。

■ ML(メーリングリスト)に登録を ■

原発関連情報の発信、センターでのおしゃべり会や学習会の案内、会員限定の募集を一斉配信しています。

登録方法→メール件名「ML登録希望」本文にお名前を書いて、info@aizu-center.org まで送信してください。

■ センター会員募集と年会費納入のお願い ■

10期の会費が未納の方は納入をお願いします。納入状況がわからない方はセンターにお問い合わせください。年会費や協賛金のご送金は、ゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。

- ・年会費：個人会員：3,000円 団体会員：5,000円
- ・協賛金：金額自由で随時受け付けています。

●振り込み先(ゆうちょ銀行口座)

- ・ゆうちょ銀行から送金の場合
記号：02270-2 番号：116030
- ・他銀行口座から送金の場合
店名：二二九 店番：229
種目：当座預金 番号：116030

今年も7月に入り、各地で雨による被害が起きています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。